

SNS相談による女性相談体制の充実強化【名古屋市】

個別事業費	6,558 千円
交付金額	3,279 千円

地域の実情と課題

本市の「女性のための総合相談」では、電話を入口として相談を受け付けているが、若年層（～30代）からの相談が全体の15%と少ない。若年層を含め、幅広い年代・様々なライフスタイルの女性が相談につながりやすくなるよう、電話以外の相談窓口の拡充が課題である。

目的・目標

市民に広く普及しているLINEを活用した相談を実施することで、悩みを抱える女性が気軽に相談できるようにするとともに、電話に抵抗感のある方など、これまで相談につながっていない方がつながりやすくなるよう相談窓口を拡充する。

事業の特徴

男女平等参画推進センター相談室において、家庭や職場、地域などで様々な悩みを抱える女性を対象とするLINEを活用した相談業務を実施する。
相談対応は本市相談員が行い、相談内容によって電話相談・面接相談につながる。

連携団体

連携団体: 経営者団体、教育機関、市民団体(女性団体、男性団体等)、行政機関の全47団体

事業の効果

令和5年8月～10月の実施期間で66件の相談を受け付け。20～30代からの相談件数が全体の約60%を占めたことから、若年層に対する窓口として有効であった。

今後の課題

LINEを活用した相談の特徴として、電話と異なり文字のみのやり取りになるため、相談者の話の受け止めや問題の整理にあたっては、文字による相談スキルも必要になることから、LINEを活用した相談に特化した相談員研修が必要である。

事業の概要

【実施期間】

令和5年8月～令和5年10月

毎週月曜日 午後1時～午後4時、毎週水曜日午後5時～午後8時、毎週土曜日午前10時～午後1時

※祝日を除く

○男女平等参画推進センター相談室において、家庭や職場、地域などで様々な悩みを抱える女性を対象とするLINEを活用した相談業務を実施した。

○相談対応は本市相談員が行い、相談内容によって電話相談・面接相談につないだ。

<相談件数>

年代	相談件数
10代	0
20代	8
30代	32
40代	10
50代	13
60代	3
70代	0
80代以上	0
不明	0
計	66

